

# 保健だより

社会福祉法人大和善隣館  
幼保連携型認定こども園

月津こども園

R6 年4月号

ご入園、ご進級おめでとうございます。新しい環境になって、緊張している子、ウキウキしている子など様々ですが、毎日子ども達の元気な声が園内に響いています。お子さまたちが健やかに元気いっぱい過ごせますよう、保健に関する情報は「保健だより」を通してお知らせしていきます。どうぞ宜しくお願いいたします。

## 園生活でのお願い

症状	こんな時は登園を控えて 医療機関を受診しましょう	登園できます
発熱	・元気がない、機嫌が悪い、食欲がない ・24 時間以内に 38.0℃以上の熱があった ・24 時間以内に解熱剤を使った	・24 時間以内に、38.0℃以上の熱がない ・食欲があり、朝食・水分が摂れている ・咳/鼻水の症状は悪くなっていない
咳	・咳のため夜間に起きる ・連続して咳き込む、呼吸がつかうそう ・機嫌が悪い、食欲がない	・連続した咳がない ・喘鳴やつかうような呼吸がない ・機嫌がよく、食欲もある
下痢 (軟便～ 水様便)	・24 時間以内に 2 回以上の下痢あり ・食事や水分を摂ると下痢をする ・下痢があり、いつもより体温が高め	・24 時間以内に下痢症状が 1 回のみで、機嫌がよく元気である ・食事をしても下痢にならない ・排尿回数がいつも通り
嘔吐	・24 時間以内に 2 回以上の嘔吐あり ・元気がない、食欲がない ・吐気があり、いつもより体温が高め	・24 時間以内に嘔吐が 1 回のみで、機嫌がよく元気である ・食欲があり、食事をしても吐かない ・顔色がよく、吐き気もない
発疹	・発熱に伴って発疹がある ・口内炎で食事がとれない(とびひの場合) ・全身に出ていて患部を覆えない	・かかりつけ医の診察の結果、「感染の恐れなし」「全身状態がよい」と診断された
目の異常	・目やにが出て目が腫れている ・目が充血している、かゆみがある	・かかりつけ医の診察の結果、「感染の恐れなし」と診断された

年齢が上になると免疫が付き感染症にかかる回数は少なくなりますが、まだ自分の体調を上手に表現できません。具合が悪い時に「お腹が痛い」と言ったりだるいことを「疲れた」と表現をする事もあります。ちょっとした不調のサインを見逃さないようにしましょう。また、トイレが自立すると、うんちの回数や状態を把握しにくくなるので注意しましょう。

今年度より園医がいのき内科・循環器科内科クリニックの居軒 功先生に変更となります。

## こども園での与薬について

こども園での与薬は医療行為となるため、原則お薬のお預かりはできません。医師から与薬の必要があると言われた場合、こども園に通っている事を伝え「薬は1日2回(朝・夕)に出来ないか」「1日3回の薬を朝・帰宅後・寝る前の内服に時間をずらせて飲ませてよいのか」など医師にご相談下さい。

### 貼るタイプのお薬について

咳を鎮めたり、呼吸をしやすくするために使用する貼るタイプのお薬がありますが、園内では使用を禁止しています。園内で剥がれた場合、小さいお子様がそれを拾って自分に貼ってしまったり、口に入れてしまったりという危険性があり事故を防止するためです。貼るタイプのお薬を、ご家庭で使用される場合は、登園前に剥がしてくださいようお願いいたします。また、虫よけシール(虫パッチなど)や虫に刺された時に貼るシール(ムヒパッチなど)も同様の理由で禁止しております。はがし忘れた場合、こども園ではがしてお返ししますのでご了承ください。

誤薬を防ぐためにもご協力をお願いいたします

### ① お家で健康上何かあった時

「家で怪我をした」「嘔吐があった」「便がゆるかった」など、健康上何かあった場合は、些細な事でも登園時にお伝え下さい。または、連絡帳に記入・入力してお知らせ下さい。欠席をされる場合は、電話または口頭でお伝えください。

### ② 園で体調が悪くなった時

お預かり中にぐったりしている、咳がひどい、おなかが痛いなどの症状があれば連絡し、ご相談させていただきます。早めに連絡が欲しい場合は、担任にお伝え下さい。

### ③ 怪我について

楽しく遊んでいる中でも、転んでしまったりぶつかってしまったりして思いがけずの怪我をしてしまうことがあります。特に首から上の怪我の場合はご連絡させていただきます。

### ④ 予防接種について

厚生労働省から出ている予防接種ガイドラインでは副反応を引き起こす可能性があるため“予防接種を行った後に走ったり、跳んだりなどの激しい運動をしないように”となっています。園では散歩や園庭、遊戯室で体をよく動かす遊びなどを行いますので、**予防接種を受ける場合は、降園後または土曜日に行なう事をおすすめします。**



◎麻しん風しん(MR)は、1歳になったら早目に受けましょう。2回目は、年長組になった年の1年間です。麻しん風しんはとても感染力が強く、現在国内で感染者の報告が増えています。自分も周りの人にも感染を防ぐためにはワクチンを確実に2回受けることが大切です。この時期を逃すと自費負担になりますので時期が来ましたら早めに接種しましょう。